

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 8 月 2 6 日

前
午 9 時 18 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 6 年 8 月 2 6 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 柴田 一雄

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	ふるさと納税の現状と課題について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ふるさと納税の現状と課題について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 総務省の統計によりますと、昨年度、全国の自治体に寄付されたふるさと納税の総額は1兆1,175億円で、前年度を1,521億円上回り、4年連続で過去最高を更新し、初めて1兆円を超えたと発表されました。 また、昨年1年間にふるさと納税を利用して今年度の住民税の控除を受けるのは1,000万2,000人で、前年度より107万人余り増え、これまでで最も多くなり、全国で住民税を納めている人の6人に1人がふるさと納税を利用したことになりました。 一方では、昨年10月にふるさと納税制度が改訂され、必要経費ルール、地場産品の基準が厳格化され、自治体によっては返礼品価格の変更や返礼品の取り下げも行われました。 また、本年10月からは返礼品を強調した宣伝広告の禁止、返礼品の内容と自治体との関連性についての規定などの厳格化、2025年10月からは寄付者にポイント付与などを行うポータルサイトを通じた寄付を禁止する旨が6月28日に総務省より告示されました。 当市の状況と致しましては、2015年に納税件数4万964件、納税金額6億5,353万円を最高に、近年は減少傾向にあり、市長の6月定例記者会見によりますと、昨年度は納税件数9,356件、納税金額は2億3,600万円とピーク時に比べ、件数、金額ともに、およそ半減しております。 新たな取り組みとしましては、市内のゴルフ場の1カ所に県内初となります、タブレットによる現地決済型のふるさと納税システム「ふるさとNOW」を導入し、ゴルフ客がタブレット端末を操作して当市にふるさと納税を寄付すると、その場でゴルフコース使用料の割引券を返礼品として受け取れることができる仕組みが開始されることが発表され「様々な形で湖西市のふるさと納税を広げていきたい」と述べられました。 ふるさと納税制度は、寄付金を財源に移住定住施策に力を入れる自治体や、観光、シティープロモーション、産業振興の発展へと繋げる自治体が増加し、自治体の発展や衰退にも大きな影響を及ぼす制度となっています。	

(質問の目的)

当市における「ふるさと納税」の現状と課題から、今後の見通しを伺うことで「行政の稼ぐ力」の新たな取り組みを確認します。

(質問事項)

1. ふるさと納税における現状の取り組みと課題について伺います。
2. 制度改正による影響と対策について伺います。
3. 現地決済型ふるさと納税システム「ふるさと NOW」の導入について背景と経緯を伺います。
4. ふるさと納税の寄付額増加に向け、新たに専門部署を設置する予定はあるか、伺います。
5. ふるさと納税制度における展望を伺います。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 8 月 26 日

前
年 11 時 9 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 6 年 8 月 26 日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	南海トラフ巨大地震等の防災・減災対策について
2	就学援助費支給認定を受けている家庭等への長期休暇中の経済的支援について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	南海トラフ巨大地震等の防災・減災対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 8月8日の午後、宮崎県の日向灘沖で震度6強の地震が発生し、気象庁は2019年に作られた「南海トラフ地震臨時情報」で「巨大地震注意」を初めて発表し、太平洋沿岸は特に1週間注意と呼びかけました。翌日の9日には、南海トラフ地震の想定震源域以外の神奈川県西部を震源とする震度5弱の地震も起こり、お盆休みに入る週末が騒然としたのは、記憶に新しいところです。 <u>「南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくない状態から、発生の可能性が数倍になった。地震学的には極めて高い確率。」と有識者が報道発表し、その被害が予測されている当市に住む我々は、改めてこの大災害に官民挙げて防災・減災対策の加速度を上げるべきと痛感しました。</u> 2011年の3.11東日本大震災後、津波避難デッキや命山の造設、同報無線個別受信機の希望者への整備等、様々な防災対策に取り組んできた当市ですが、能登半島地震直後の避難所のトイレ状況(数百人に仮設トイレ2基等)を報道で知るにつけ、当市においても深刻な課題で、対策の一つとして、富士市等が導入した「トイレトレーラー」「トイレトラック」という移動型トイレの導入を提案する時、と思いました。 また、2021年(令和3年)施行の改正災害対策基本法で初めて法的に位置づけられた「災害時避難行動要支援者の個別避難計画」の策定は、市区町村の努力義務となっており進んでない自治体も多いようですが、当市は、令和4年度に地域福祉課福祉総務係が主導し個別避難計画策定のモデル事業を実施したように聞きました。 そして、浜松市においては在宅の医療的ケア児の「災害訓練の実施」を関係者で検討すると本年6月議会で明らかにしたとの新聞記事も読み、当市も個別避難計画策定から訓練実施までをすべきと思いました。	

(質問の目的)

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっている現在、市民の安全安心のために準備出来ていない「トイレトレーラー」整備や避難行動要支援者の個別避難計画策定の拡大、その計画を基にした避難訓練の実施等で防災・減災対策を加速して欲しい。

(質問事項)

【トイレトレーラー等の導入について】

1. 被災時や平時のイベント会場で「車椅子使用の障害児者も活用できるトイレ」また、他自治体への災害時派遣に活用できる「快適なトイレ」を牽引するトイレトレーラーや車と一体型のトイレトラック、トイレカー等を配備しては如何か。

【災害時避難行動要支援者の個別避難計画及び避難訓練について】

2. 令和4年度に重度障害者と要介護高齢者が居る世帯をモデルに個別避難計画を地域福祉課が関わり策定したようだが、どのような方法で策定したのか。

3. 湖西市地域防災計画資料編では、「ハザードマップで危険な区域に住む者や計画作成の優先度が高いと市が判断する者について令和3年の法改正から5年程度で取り組む」とあるが、他の医療的ケア児者や難病患者、独居高齢者世帯等の災害時避難要支援者の個別避難計画の策定状況は。

4. 災害時避難要支援者個別避難計画を策定した次のステップとして、これを基に避難訓練ができると良いが、計画は如何か。

番号	主 題
2	就学援助費支給認定を受けている家庭等への長期休暇中の経済的支援について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 今年の小中学校の夏休みが始まった頃に、ひとり親家庭の方から「今日の新聞に焼津市で夏休み中の昼食支援、保護者へ2万円支給とあるよ。湖西市でもできないかね。」との電話を頂きました。新聞記事には「就学援助費の支給認定（生活保護世帯以外）を受けている児童生徒の保護者が対象で、物価高騰の中、少しでも保護者の負担を減らしたい」との焼津市教育総務課担当者の弁がありました。 また、7月の日本教育新聞には、生活困窮世帯へ物資支援等を行っているNPO法人キッズドアが小中学生のいる支援家庭への調査が掲載されており、約6割が夏休みの短縮や廃止を希望していた。理由の1位は「子どもが家にいることで生活費がかかる」が78%でした。 更に、8月上旬の一般紙には夏休み中のひとり親家庭の34%で、子どもが1日2食以下で過ごしていることが民間団体の調査で分かった、という記事もありました。そこには、1日1食が2%、米をおかゆにしてかさ増ししたり、親が1日1食にしている、エアコンは我慢して限界になったら水を浴びる、との内容もあり、胸が痛みました。 (質問の目的) いかなる家庭も安全で安心な子育てが保障される福祉の拡充を希望する。 (質問事項) 1. 給食の無い長期休暇中に低所得世帯の子どもの生存が脅かされない、経済的支援策を講じて欲しいが如何か。	

一 般 質 問 通 告 書

令和6年8月26日

前
午 0 時 54 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和6年 8 月 26 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 神谷里枝

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市における障がい福祉施策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市における障害者福祉施策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 2023 年度までの第 4 次障害者計画、第 6 期障害福祉計画、第 2 期障害児福祉計画が終了したことに伴い、計画の基本理念であります「わかりあい、ふれあい、支え合う 誰もが互いに尊重する共生のまち こさい」を念頭に、障害福祉施策を総合的かつ計画的に推進するため「第 5 次障害者計画・第 7 期障害福祉計画・第 3 期障害児福祉計画」の 3 計画を一体的に策定され、事業進捗が図られているところではありますが、第 7 期障害福祉計画策定に当たってのアンケート調査項目において、湖西市の障害福祉施策全般について「わからない」との回答割合が 39.1%「どちらともいえない」が 30.5%もあります様に、障害者本人やその家族には成果が見えない、感じられないのも事実だと思えます。 (質問の目的) 浜松と豊橋に挟まれた湖西市福祉行政において、中々進まない障害福祉サービスの向上を図り、障害児者を抱える家族は勿論の事、障害の有無にかかわらず、誰もが自分らしく、安心して、幸せに暮らせる住みよい街になるための体制を整えて頂きたい。 (質問事項) 1. 第 6 期障害福祉計画の評価をお伺い致します。 2. 第 5 次障害者計画・第 7 期障害福祉計画策定について ①障害者の現状や要望などを把握し、計画を策定する際の基本資料として障害のある人の意見を計画に反映させるためにアンケート調査を行ったとのことですが、各種障害手帳保持者における 18 歳以上の方の現状と課題をお伺い致します。 ②本計画の基本目標における其々の重点項目、特に推進したい事業をお伺い致します。 ③本計画における浜名学園の位置づけと期待する役割をお伺い致します。	

- ④施設入所者の地域生活の移行について、移行数を3人、2026年度の入所者数を43人とする目標を設定していますが、可能性についてお伺い致します。

3. 地域生活支援拠点について

- ①地域において安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにするための「地域生活支援拠点」の整備の進捗状況や方針をお伺い致します。
- ②地域における支援体制の強化を図る観点から地域生活支援拠点整備には「拠点コーディネーター」の配置は必要不可欠と考えるが進捗状況と方針をお伺い致します。
- ③緊急事態において必要なサービスに調整や相談その他必要な支援を行う機能など、障害種別や各種のニーズに対応できるよう「相談支援体制の充実・強化」に向けての方針・対策をお伺い致します。
- ④施設や病院からの地域移行や、親元からの自立に当たって、共同生活援助などの障害福祉サービスの利用や、一人暮らしの「体験の機会・場」を提供する機能の確保についてのお考えをお伺い致します。

4. 浜名学園について、例年一般会計より負担金を支出し障害者施設を一部事務組合として運営、湖西市における障害者福祉サービス提供事業所として重責を担って頂いておりますが、利用者の現状や課題、施設・設備の老朽化対策も含めた今後の方針をお伺い致します。

5. 市長の在任期間2期8年において障害者福祉をどのように捉え取り組もうとされたのか、成果・評価をお伺い致します。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

2024年 8月26日

前

午 0時55分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2024年 8月26日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 竹内祐三 印

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	第4次湖西市地域福祉（活動）計画について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	第４次湖西市地域福祉（活動）計画について
質 問 の 要 旨	
（質問しようとする背景や経緯） 地域共生社会の実現に向けた取り組みの一つに「地域包括ケアシステムの構築」があり、住みなれた地域で支え合い助け合いながら自分らしく生活を送る仕組みを作りました。 R5年３月に地域福祉を推進するために、市で策定していた地域福祉計画と社協が策定していた地域福祉活動計画を一体化した、第４次湖西市地域福祉－（活動）計画が新たに策定されました。 「誰もが自分らしく 安心して しあわせに暮らせる社会」を基本理念としています。この計画を推進するための内容が、市・社協の取組、市民・地域の取組として明記されていますが、市民は地域福祉計画を知らないのが現状です。	
（質問の目的） 地区社協の活性化及び地域福祉（活動）計画の推進を図るため	
（質問事項） 1. 地域福祉（活動）計画を推進するには、地区社協の活動が重要と考えますが、この地区社協の役割と活動をお伺いします。 2. 社協が中心となり、「地域の居場所開設支援」を行うとなっていますが、現状と課題を伺います。 3. 地域の民生委員児童委員を知らない人がいるので、民生委員の役割と地域の民生委員を紹介し、身近な所で相談ができることを周知する考えはありませんか。	

4. 共生社会の実現に向けて「包括的な相談体制の整備」に取り組むのですが、現状と課題、今後の取組を伺います。
5. 成年後見制度の学習会や啓発は必要と考えますが、成年後見制度の利用を自分ごとと考えている人が少ないのが現状です。権利擁護の推進として、エンディングノートを活用して本人の意向が分かるように取り組んでいますが、現状と課題を伺います。また、今までにエンディングノートは何冊配布されましたか。
6. 再犯防止の取り組みを計画に入れることになりましたが、現状と課題、今後の取り組みをお伺いします。
7. 福祉サービスが必要な人へアウトリーチ型の支援体制を整備し支援が必要な人への対応を強化するとなっていますが、具体的にどうしていくのかお伺いします。
8. 地域福祉（活動）計画を推進するために、市と社協が車の両輪となり進捗状況を確認し、課題解決に向かっていただきたいが進行管理と評価はどのように行われ、公表はされますか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

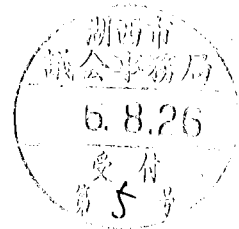
一 般 質 問 通 告 書

2024年 8月 26日
前
午 時 28分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 6 年 8 月 26 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 榑 浩幸
(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市のカーボンニュートラル施策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市のカーボンニュートラル施策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市は「地球温暖化対策実行計画」に基づき、製造業による温室効果ガスの排出削減を重視しています。地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入や省エネルギー設備の推進が重要です。また、炭素吸収源の確保と革新的技術を活用したエネルギー効率化も求められます。持続可能なエネルギー社会の実現を目指すため、市民の意識啓発と地域全体の協力が必要です。 (質問の目的) 湖西市が制定した「地球温暖化対策実行計画」の具体的施策を確認し、カーボンニュートラル達成に向けた市の取り組み状況を明らかにします。また、湖西市における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー対策、産業部門との協力の強化について議論し、地域全体での持続可能なエネルギー社会の構築を促進するための方向性を確認します。 (質問事項) 1. 製造業における温室効果ガス排出削減 製造業は温室効果ガス排出の76.7%を占めるとされており、特に自動車関連製造が大きな割合を占めるが湖西市としてどのような支援策を検討しているか伺う。 2. 再生可能エネルギーの導入促進 太陽光発電の導入ポテンシャルが高いが、現状では導入が十分とは言えない。住宅、事業所、遊休地への導入促進についての考え方と施策を伺う。 3. 地域循環共生圏 今年度は地域プラットフォームを構築する計画だが事業スキームを伺う。 4. 脱炭素先行区域 今年度は促進地域を設定、事業検討を行う計画だが、概要と進捗を伺う。 5. グリーンカーボンとブルーカーボンを活用した循環型モデルの提案 グリーンカーボン、ブルーカーボンをクレジット化してデジタル地域通貨を設定、循環型モデルを構築してはどうか伺う。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること